



# 令和2年度9月補正予算の概要

ひとりひとりの行動が  
福岡を救う。日本を救う。

福岡県





# 令和2年度9月補正予算のポイント

## 1 予算編成 の考え方

- 新型コロナウイルス感染症対策として、「医療提供体制の強化と感染防止対策の徹底」、「雇用対策の強化と生活困窮者の支援」、「『新しい生活様式』を踏まえた地域経済の活性化」に取り組む
- 令和2年7月豪雨で被災した商工業者・農林漁業者の支援、公共土木施設等の復旧・復興に取り組む
- 安全・安心、地域防災力の強化等

(単位:百万円)

## 2 補正予算 の規模

区分	当初予算 A	現計予算 B	9月補正 予算 C	9月補正後 予算 D=B+C
一般会計	1,851,724	2,088,381	63,692	2,152,073
特別会計	955,785	955,785	0	955,785
計	2,807,509	3,044,166	63,692	3,107,858

(単位:百万円)

## 3 主な内容

項目	予算額	財源内訳			
		特定財源			一般財源
		国庫	県債	その他	
○新型コロナウイルス感染症対策	37,607	26,696	0	1	10,910
○令和2年7月豪雨災害復旧・復興対策	22,244	6,192	13,799	115	2,138
○安全・安心、地域防災力の強化等	3,841	1,941	1,605	34	261
合計	63,692	34,829	15,404	150	13,309

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 109億円  
繰越金 20億円、地方交付税 4億円



# 新型コロナウイルス感染症対策

## 医療提供体制の強化と感染防止対策の徹底

### ■ 医療提供体制の強化

- 医療提供体制を強化 42億7,357万4千円（4月補正：18億3,444万8千円、6月補正：7億7,468万2千円）
  - ・ 県保健所（3か所）に抗原定量検査機器を導入し、検査能力を拡大【新規】  
〔検査件数：300件/日 → 1,800件/日〕
  - ・ 帰国者・接触者相談センターの相談対応職員を増員
  - ・ 県医師会が設置する「新型コロナウイルス専用外来」の設置か所の拡大、開設期間の延長を支援
  - ・ 軽症、無症状の患者を受け入れる宿泊療養施設の借上期間を延長（5か所 1,200室）
  - ・ 入院患者数の増加に伴い、入院受入医療機関及び医療従事者に対する支援金を増額



＜抗原定量検査機器＞  
（画像提供：富士レボロ株式会社）

### ■ 感染防止対策の徹底

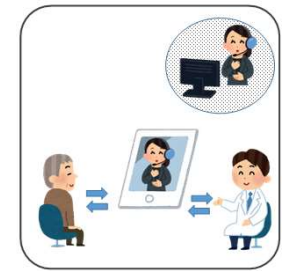
- 飲食店等における対策を支援 28億7,554万7千円【新規】
  - ・ 業種別ガイドラインを遵守し感染防止対策を徹底する飲食店に対し、マスク、消毒液購入等の感染防止対策費用を助成  
〔1事業者5万円（複数店舗を有する場合は10万円）〕
  - ・ 飲食店紹介サイトにおいて感染防止対策を徹底する「感染防止宣言ステッカー」掲示店を紹介
  - ・ 営業形態に応じた感染防止対策を助言するアドバイザーを飲食店等に派遣



＜感染防止宣言ステッカー＞ 2

○ **福祉施設における対策を強化** 50億961万3千円（4月補正:2,883万3千円、6月補正:66億9,283万1千円）

- ・ 介護サービス事業所、児童養護施設等が実施するマスク、消毒液の購入、多機能型簡易居室の整備等を引き続き支援
- ・ 市町村が実施する遠隔手話通訳サービスの導入を支援【新規】
- ・ 民生委員・児童委員の感染防止対策（マスク、消毒液購入等）を支援【新規】



<遠隔手話通訳のイメージ>

○ **学校等における対策を強化** 8億3,580万6千円

- ・ 修学旅行を中止又は延期した際に発生するキャンセル料を支援【新規】
- ・ 県立学校における実習や給食調理時の衛生環境向上のため、包丁・まな板消毒保管庫や自動手洗消毒器等の設備を導入【新規】
- ・ 県立三大学、私立専門学校が実施する感染防止対策（消毒液、非接触型体温計の購入等）を支援【新規】



<給食調理場の手洗い設備>

○ **県警察における対策を強化** 1億9,426万6千円

- ・ 警察署の取調べ室、交番・駐在所に飛沫感染防止のためのアクリル板を設置【新規】
- ・ 留置施設に空気清浄機を設置【新規】

## ■ 情報発信の充実

○ **情報発信を充実** 9,811万円（4月補正:3,948万5千円、6月補正:7,959万6千円）

- ・ テレビCM、新聞広告等を活用し「新しい生活様式」の徹底や県の支援策に関する広報を実施
- ・ 若年層に対する感染防止対策の啓発を強化するためSNSによる情報発信を充実

○ **相談体制を強化** 1億5,142万9千円（4月補正:6,198万6千円、6月補正:4,364万7千円）

- ・ 新型コロナウイルス感染症一般相談窓口（24時間電話対応）の相談員を増員、開設期間を延長

# 雇用対策の強化と生活困窮者の支援

## ■雇用対策の強化

- **人材不足分野への転職支援を強化** 1億7,548万2千円（4月補正：1,286万8千円）
  - ・ 建設、福祉、農業等の人材不足分野の求人開拓や企業の採用力向上を支援するため、年代別・対象別就職支援センターに求人開拓専門員を配置【新規】
  - ・ 人材不足分野で働くことの魅力を理解し応募意欲を高めてもらうため、求職者向け就職促進セミナーを開催【新規】
  - ・ 求職者と企業とのマッチング支援を強化するため、県内各地域でミニ面接会を開催【新規】
  - ・ 全ての県立高等技術専門校に、オンライン訓練機器を整備【新規】
- **ウェブを活用した就職支援・UIJターン推進を強化** 2,867万6千円【新規】
  - ・ 新規学卒者や子育て女性等を対象としたウェブ合同会社説明会、セミナーを実施
  - ・ UIJターン就職を促進するため、大学1～3年生を対象としたウェブインターンシップを実施
- **テレワークの活用を促進** 3,324万8千円【新規】
  - ・ 県内中小企業におけるテレワーク導入促進、定着のためのセミナー、個別相談会を実施
  - ・ 障がいのある求職者に対しテレワークによるIT技術訓練を実施
- **高校等における就職支援を強化** 1億7,923万5千円【新規】
  - ・ 県立高校、県立特別支援学校、私立高校に就職指導員を配置
- **県内企業の採用意向等を把握** 1,529万4千円【新規】
  - ・ 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた県内企業等の採用意向等調査を実施



<オンライン訓練のイメージ>



<テレワークの様子>

## ■生活困窮者の支援

- 失業等により収入が減少した世帯を支援 188億5,837万8千円  
(4月補正:14億5,483万9千円、6月補正:170億5,251万5千円)

- ・ 一時的な資金が必要な方に対する生活福祉資金特例貸付の原資を大幅に積み増し

（緊急小口資金：貸付上限20万円、無利子  
総合支援資金：貸付上限60万円を120万円（上限60万円×2回）へ増額、無利子  
申し込み期間：7月末を9月末まで延長）

## 「新しい生活様式」を踏まえた地域経済の活性化

### ■中小企業のDX，生産性向上等を加速

- DX(デジタルトランスフォーメーション)を推進 3億5,847万5千円  
(4月補正:4,623万3千円、6月補正:5,988万3千円)

- ・ ものづくり、医療福祉等の分野におけるDXシステムを開発する県内IT企業を支援【新規】
- ・ 工業技術センターに設計・開発・製造技術のデジタル化指導のための機器を導入【新規】
- ・ ウェブ会議システム等のテレワーク環境の整備を支援する補助金を増額

- 生産性向上の取組みを支援 1億5,000万円（4月補正:2,750万円）

- ・ 生産工程の自動化装置等の導入を支援する補助金を増額

- 「新しい生活様式」を踏まえた販路拡大等を支援 9億6,559万2千円  
(4月補正:2億172万3千円、6月補正:3億7,106万円)

- ・ 工業技術センターに殺菌装置や飛沫拡散防止の製品開発に対応する試作・評価機器を導入【新規】
- ・ 飲食店によるデリバリーやテイクアウト等の新たな取組みを支援する補助金を増額
- ・ 小規模事業者によるEC（電子商取引）導入等の販路開拓を支援する補助金を増額



＜酒造用タンクの温度管理を数値化するデジタル機器の一例＞

## ■ベンチャーの支援

### ○「新たな日常」を創造するベンチャーを支援 2,477万7千円【新規】

- ・ I T 技術等を活用した非接触、非対面ビジネスモデルや感染症に対応する治療薬、医療機器など、新たなビジネスに特化したベンチャーマーケットを開催、全国へ情報を発信

## ■観光振興・消費喚起による地域経済の活性化

### ○ 県物産品の消費を喚起 5,400万円（4月補正：5億1,901万2千円）

- ・ 「福岡県ウェブ物産展」の開催期間を延長、ウェブデザイナーを活用し商品紹介ページを充実

### ○ 県内を巡る修学旅行を促進 4,652万1千円【新規】

- ・ 本県を行程に組み込んだ修学旅行を実施する県内外の学校に対しバス代の一部を助成



<福岡県ウェブ物産展>

## ■農林水産業の振興

### ○ 生産基盤の維持を支援 14億1,350万9千円（4月補正：7,619万2千円）

- ・ 無人除草ロボット、ロボットトラクターなどのスマート農業機械・設備の導入を支援【新規】
- ・ 「福岡有明のり」の品質検査場等への発熱者を探知する赤外線カメラの導入を支援【新規】
- ・ 技能実習生の出国が困難となったことに伴う賃金の掛かり増し経費の農家負担を軽減
- ・ 価格下落の影響を受けている「博多和牛」などを肥育する畜産農家の子牛購入を支援



<秋王>

### ○ 県産ブランド農林水産物の販路拡大を支援 4,595万3千円【新規】

- ・ 「秋王」「甘うい」等の県産高級果実のウェブ商談の実施を支援
- ・ 首都圏、関西圏の外食事業者が「福岡フェア」で使用する「博多和牛」などの高級食材の輸送費を支援

## ■公共交通、文化芸術の支援

- **地域の公共交通を確保・維持 6億9,585万円【新規】**
  - ・ 外出自粛等により乗客が減少している地域鉄道、乗合バス事業者の事業継続を支援するため、支援金を給付
- **文化芸術活動の再開を支援 3億9,655万8千円【新規】**
  - ・ 活動自粛を余儀なくされた文化芸術団体等に対し公演開催に必要な施設借上料の一部を助成

## ■新たな暮らしのスタイルの確立

- **「新しい生活様式」における健康づくりを推進 4,595万2千円【新規】**
  - ・ 「ふくおか健康ポイントアプリ」にバーチャルウォークラリー、食事バランスのチェック機能、家庭で気軽に体力測定ができる機能を追加
- **新たな出会いの場を提供 7,889万8千円【新規】**
  - ・ 「出会い応援団体」が実施する出会いイベントの感染防止対策、オンライン出会いイベントの開催を支援
  - ・ 「結婚応援キャンペーン週間(仮称)」(11月第1週)に、出会いイベントの集中開催やメディア・SNSを通じた情報発信等を実施
- **デジタル技術を活用した監視指導業務を強化 2,619万6千円【新規】**
  - ・ ウェアラブルカメラ、遠隔操作カメラを活用し、産業廃棄物処理施設等の立入調査、遠隔監視を実施
- **九州歴史資料館のデジタル化を推進 1億942万6千円【新規】**
  - ・ 普段立ち入ることができない遺跡や仏像の内部を探索するVR体験コンテンツを制作
  - ・ 日本遺産「西の都」の認定ストーリーや構成文化財を紹介する映像コンテンツを制作し、ホームページで公開
- **ワンヘルスの理念と重要性を周知 825万7千円(4月補正:210万2千円)**
  - ・ 国際フォーラムの開催を契機に、ワンヘルスの理念を国内外に周知啓発するためのブックレットを制作、配布【新規】



<オンライン出会いイベントの様子>



<九州歴史資料館収蔵文化財(奪衣婆像)>





# 令和2年7月豪雨災害復旧・復興対策

## ■ 商工業者の事業再開・継続支援

- 中小企業への金融支援を強化 6,200万円
  - ・ 県制度融資に緊急特別融資枠を創設、被災企業の金利負担を軽減し、保証料を全額補てん
- 事業継続を支援 43億1,910万5千円
  - ・ 中小企業等が行う工場、店舗などの施設や生産機械などの設備の復旧を支援
  - ・ 小規模事業者が取り組む新サービスの提供、商品開発等による販路開拓を支援
  - ・ 商店街のアーケード、街路灯等の復旧を支援



<大牟田青果市場の被災状況>

## ■ 農林漁業者の事業再開・継続支援

- 金融支援を強化 491万7千円
  - ・ 緊急特別融資枠を創設し、金利負担を軽減
- 事業継続を支援 13億2,668万円
  - ・ 農業生産施設の復旧、機械取得・修繕を支援
  - ・ 園芸農家が行う野菜・花きの種苗、土壌改良資材の購入等を支援
  - ・ 畜産農家が行う浸水した牧草・ワラに代わる飼料、肉用鶏ヒナの購入を支援
- 内水面漁業の再生を支援 590万6千円
  - ・ アユ卵を放流し、水産資源を回復



<冠水したハウス施設>

## ■ 公共土木施設の復旧等

### ○ 被災した道路や河川などの復旧を加速化 81億8,645万2千円 [当初予算活用 42億8,775万4千円]

- ・ 道路や河川、砂防施設を復旧
- ・ 農地や農業用施設、林道などを復旧
- ・ 農林業総合試験場などの固有施設を復旧
- ・ 平成筑豊鉄道の復旧を支援
- ・ 保育所の復旧を支援
- ・ 文化財の復旧を支援



<河川や砂防施設の復旧>

### ○ 災害復旧の効果を高め、災害の再発を防止 67億3,134万8千円 [当初予算活用 5億5,200万円]

- ・ 河川の流下能力向上を図る河道掘削、改良工事を計画する河川、砂防施設の調査等を実施
- ・ 浸水被害を軽減するため堤防嵩上工事を実施
- ・ 排水ポンプ車を導入（5台）〔債務負担行為 3億4,760万円〕
- ・ 土石流やがけ崩れが発生した箇所に砂防ダムを設置
- ・ 崩壊した林地に治山施設を設置



<堤防嵩上工事の様子>



<砂防ダム>

### ○ 被害拡大防止のため、流木撤去など応急対応を実施 15億447万8千円

[当初予算活用 3,339万9千円]



<流木の様子>



# 安全・安心、地域防災力の強化等

## ■安全・安心、地域防災力の強化

### ○ 道路の安全を確保 30億8,393万2千円

- ・ 歩道や交差点の改良工事、橋りょうの老朽化対策工事を実施



<歩道整備>

### ○ 洪水・土砂災害防止、港湾の老朽化対策等を推進 4億5,894万円

- ・ 河川の護岸を整備、砂防施設を設置
- ・ 港湾施設の老朽化対策工事を実施、臨港道路を整備



<河川の護岸工事>

## ■地域活性化

### ○ 企業誘致の受け皿となる工業用地を整備 [工業用地造成事業会計] 2億3,320万円【新規】

- ・ 宮若北部工業用地造成のための調査、設計を実施 [造成面積：約21ha 事業期間：R 2～5年度]